



my story

枠にとらわれない仕事を

地域福祉活動推進部門

福祉活動専門員

Kさん（女性）

採用6年目

Q 江南市社会福祉協議会に入社した
きっかけは？

A 枠にとらわれない仕事がしたい

「枠にとらわれすぎず、色々なことをとりあえずやってみたい」という思いがきっかけです。実際に働いてみると、業務の幅が広い分、苦手な業務もあれば、周りと比較して得意な方と思える業務もあり、自己覚知にもつながっています。ふくしと一見関係なさそうな知識を活かしたり、情報が入ってきたりするので6年経った今でも新しい発見があります。

Q 担当業務と仕事の心構え
を教えてください

A ふくしに正解がないからこそ相談

学校の福祉教育や地域住民のつながりづくり、ボランティアグループの支援、広報などを様々な立場の方と協力しながら行っています。ある時は行政や企業の方々と政策などを話したり、ある時は地域住民の方々と会話をしたりと、関わる方や考えることは多岐に渡りますが、「ふくしについて考える人を増やす取り組み」につながっています。

日々「物事を都合よく解釈しないこと」を大切にしています。無意識のうちに自分にとって都合のいい方向に捉えてしまいがちですが、実際にはそうならないことも多くあります。あえて悪い方向の想定もしておくことで、冷静に対応できる場面もあります。また、先輩と相談することで自分では見えていなかった視点に気づくことができ、その後の動き方にも良い影響があると感じています。また、ふくしに正解はないからこそ「best」ではなく、「better」を探す柔軟な発想や対応を心がけています。

Q 職場はどのような
雰囲気ですか？

A 幅広い世代が働く職場

毎年採用しているわけではないものの、20代の職員もいる職場です。ベテラン職員だけでなく、年数の近い職員からのフォロー体制もあり、お互いの意見を言い合い、刺激を受けながら業務を進めていける環境があると感じています。ただし、業務量はそれなりに多いこと、時間や対応方法など他者に合わせる必要があることから、環境はありますが、意欲と柔軟性、行動力は欠かせない職場です。

Q 江南市社会福祉協議会で
働きたい方へのメッセージを

A 大変さの中にやりがいも。自分次第で変わる。

人生の岐路に否が応でも立つ機会はそう多くありません。このサイトに書いてあることは私たちから見ると事実ですが、何を大切にするのか、事実をどう見るかは人それぞれです。どこの職場であっても自分で決めた選択なら、その後の糧になると思います。

どんな仕事であっても、大変さを感じることはあると思いますが、自分の選択であればやりがいも感じられる職場だと思います。

